

## 第 11 ギャンブル依存症対策推進基本法（骨子）試案

### 1 基本法

「基本法」とは、国政の重要分野について、国の施策、制度等の基本方針を明示する法律で、一般に「〇〇基本法」の名称が付され、各分野で多数制定されている。基本法に示された方針に基づいて政策実現のための個別法が制定され、目的が実現されていく。

日本では、消費者基本法：（昭和 43 年 5 月 30 日法律第 78 号）や、障害者基本法：（昭和 45 年 5 月 21 日法律第 84 号）、高齢社会対策基本法：（平成 7 年 11 月 15 日法律第 129 号）、男女共同参画社会基本法：（平成 11 年 6 月 23 日法律第 78 号）、自殺対策基本法：（平成 18 年 6 月 21 日法律第 85 号）、がん対策基本法：（平成 18 年 6 月 23 日法律第 98 号）など、現在 47 の基本法が制定されている。

### 2 過労死等防止対策推進法

平成 26 年 11 月に施行された「過労死等防止対策推進法」は、「基本法」という名称ではないが、実質的に基本法としての性格を有する法律である。同法は、近年、日本において過労死等が多発し大きな社会問題となっていること及び過労死等が、本人はもとより、その遺族又は家族のみならず社会にとっても大きな損失であることに鑑み、過労死等に関する調査研究等について定めることにより、過労死等の防止のための対策を推進し、もって過労死等がなく、仕事と生活を調和させ、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に寄与することを目的として、制定された。遺族の会が中心になって国会請願や署名活動等を展開する中で、超党派の議員連盟ができ、議員立法として上程され可決に至っている。

この法律において、政府は、過労死等の防止のための対策を効果的に推進するため、「過労死等の防止のための対策に関する大綱」を定めることとされている。厚生労働省としても、過労死等の防止のための対策に関する大綱（平成 27 年 7 月 24 日閣議決定）に即して、過労死等がなく、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現に向けて、各対策に取り組んでいくと宣言している。

同法制定後、毎年 11 月、国を挙げて過労死等防止月間に取り組むことになり、各地で厚労省主催のシンポジウムを開催するようになった（運営は遺族の会等市民団体に委託）。また、平成 27 年 7 月 24 日、「過労死の防止のための対策に関する大綱」が閣議決定され（厚労省だけの課題ではなくなっている）、例えば、「平成 32 年までに『週労働時間 60 時間以上の雇用の割合を 5%以下』、『年次有給休暇取得率を 70%以上』・・・」といった数値目標を掲げて取り組むことになるなど、目に見えた変化が起きてきている。

### 3 アルコール健康障害対策基本法

2013 年 12 月 13 日、「アルコール健康障害対策基本法」が制定された（平成 25 年 12 月 13 日法律第 109 号）。

同法は、「酒類が国民の生活に豊かさと潤いを与えるものであるとともに、酒類に関する伝統と文化が国民の生活に深く浸透している一方で」「不適切な飲酒はアルコール健康障害の原因となり、アルコール健康被害は、本人の健康の問題であるのみならず、その家族への深刻な

影響や重大な社会問題を生じさせる危険性が高いことに鑑み、アルコール健康障害対策に関し、基本理念を定め・・・」とその目的を定めている（同法第1条）。

その目的に沿って、「国の責務」「地方公共団体の責務」「事業者の責務」「国民の責務」「医師等の責務」「健康増進事業実施者の責務」等を定め、さらに、「基本的施策」として、「教育の振興等」「不適切な飲酒の誘因の防止」「健康診断及び保健指導」「アルコール健康障害に係る医療の充実等」「相談支援等」「社会復帰の支援」「民間団体の活動に対する支援」「調査研究の支援」等の各項目が規定されている。

今後種々の対策が具体化されていくものと期待されている。

#### 4 ギャンブル依存症対策推進基本法（骨子）試案

細部の条文は詰めていくとして、差し当たり、上記「アルコール健康障害対策基本法」を参考にして、以下の項目を規定する基本法を策定することが必要だと考える。

##### 第1 総則

- 1 目的、定義等
- 2 国の責務
- 3 地方公共団体の責務
- 4 事業者の責務
- 5 国民の責務
- 6 医師等専門家の責務
- 7 対策推進事業実施者の責務
- 8 ギャンブル依存症問題啓発月間

##### 第2 基本計画の策定等

- 1 ギャンブル依存症対策推進基本計画の策定
- 2 関係行政機関への要請
- 3 都道府県毎のギャンブル依存症推進基本計画の策定

##### 第3 基本的施策

- 1 教育の振興等
- 2 不適切なギャンブルの誘因の防止
- 3 健康診断及び保健指導
- 4 ギャンブル依存症に係る医療の充実等
- 5 相談支援等
- 6 社会復帰の支援
- 7 民間団体の活動に対する支援
- 8 調査研究の支援

##### 第4 ギャンブル依存症対策推進会議の設置

## 【参考文献・資料】

- ・ 帯木蓬生 (2014) 『ギャンブル依存国家・日本 パチンコから始まる精神疾患』 光文社
- ・ 若宮健 (2011) 『なぜ韓国は、パチンコを全廃できたのか』 祥伝社
- ・ 滝口直子 (2012) 「消費者の権利保護の観点から問題ギャンブルの予防を考える (その1)」『消費者法ニュース』 No.90、P132-133
- ・ 滝口直子 (2012) 「消費者の権利保護の観点から問題ギャンブルの予防を考える (その2)」『消費者法ニュース』 No.91、P109-112
- ・ 滝口直子 (2012) 「消費者の権利保護の観点から問題ギャンブルの予防を考える (その3)」『消費者法ニュース』 No.92、P191-198
- ・ 滝口直子 (2013) 「企業の社会的責任と消費者保護 (下) -ギャンブル問題対策への社会的枠組み-」『消費者法ニュース』 No.97、P76-82
- ・ 高橋三郎・大野裕監訳 (2014) 『DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き』 医学書院
- ・ 融道男・中根允文・小見山実・岡崎祐士・大久保善朗監訳 (2005) 『ICD-10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン(新訂版)』 医学書院
- ・ 和田清編(2013) 『依存と嗜癖 (精神科臨床エキスパートシリーズ)』 医学書院
- ・ 福居顯二・土田英人監訳(2015) 『ギャンブル依存 (Problem and Pathological Gambling)』 金剛出版
- ・ 野村総一郎・樋口輝彦・尾崎紀夫・朝田隆編(2012) 『標準精神医学 (第5版)』 医学書院
- ・ 松本俊彦 「依存という心理一人はなぜ依存症になるのか」 (2015) 『心の科学』 No182、p12-16 日本評論社
- ・ 成瀬暢也 「病としての依存と嗜癖」 (2015) 『心の科学』 No182、p17-21 日本評論社
- ・ 廣中直行 「依存の生物学的な機序」 (2015) 『心の科学』 No182、p22-26 日本評論社
- ・ 長徹二 「依存とは害か? -自己治療仮説を治療に活かす」 (2015) 『心の科学』 No182、p27-31 日本評論社
- ・ 蒲生裕司 「ギャンブル障害」 (2015) 『心の科学』 No182、p41-44 日本評論社
- ・ 田辺等 「依存症の問題はどこに相談すればよいか」 (2015) 『心の科学』 No182、p64-67 日本評論社
- ・ 田辺等(2002) 『ギャンブル依存症』 生活人新書
- ・ 帯木蓬生(2004) 『ギャンブル依存とたたかう』 新潮選書
- ・ 田中紀子(2015) 『ギャンブル依存症』 角川新書
- ・ 平井慎二(2015) 『条件反射制御法』 遠見書房
- ・ 平井慎二・長谷川直実(2015) 『条件反射制御法入門』 星和書店
- ・ ステファン・G・ホフマン(2012) 『現代の認知行動療法 CBT モデルの臨床実践』 診断と治療社
- ・ リタ・カーター(2012) 『ビジュアル版 新・脳と心の地形図-思考・感情・意識の深淵に向かって』
- ・ 『季刊刑事弁護』 64 (現代人文社)
- ・ 東京弁護士会期成会明るい刑事弁護研究会(2008) 『入門覚せい剤事件の弁護』 現代人文社
- ・ 鶴身孝介・高橋英彦(2013) 「ギャンブルにはまる脳」 『BRAIN and NERVE』 65(1)、p77-83 医

学書院

- ・ 藤本健一(2012)「パーキンソン病治療に伴う脱抑制性の異常行動」『BRAIN and NERVE』64(4)、p373-383 医学書院
- ・ 太田健介(2008)「病的賭博者の特徴—1 医療機関を受診した 105 例の検討から—」『精神神経学雑誌』110(11)、p1023~1035 日本精神神経学会
- ・ 森山成彬(2008)「病的賭博者 100 人の臨床的実態」『精神医学』50(9)、p895~904 医学書院
- ・ 佐藤拓・宮岡等(2012)「病的ギャンブラーその鑑別と対応—」『精神科治療学』27 (6) 、p715~721 星和書店
- ・ 田辺等(2010)「ギャンブル依存症（病的賭博）と自殺」『精神科治療学』25(2)、p223-229 星和書店
- ・ 森山成彬(2016)「ギャンブル症者 100 人の臨床的実態（続報）」『臨床精神医学』45(4)、p517~522 アークメディア
- ・ 大野裕(2009)「認知・行動療法（の前提と目指すところ）」『精神治療科学』24 増刊号、p42-43 星和書店
- ・ 増野肇(2009)「集団療法の目指すところ」『精神治療科学』24 増刊号
- ・ 松岡俊行(2009)「『依存症：溺れるところ』を探る」『こころの未来』第2号京都大学
- ・ 梁亨恩(2008)「ギャンブル接近性と依存症についての考察」『大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要』10、p201-223
- ・ 社団法人日本遊技関連事業協会(2002)『パチンコ遊技と依存に関する調査 最終報告書』
- ・ 尾崎米厚「わが国の成人の飲酒行動に関する全国調査 2013 年、2003 年 2008 年全国調査との比較」『WHO 世界戦略を踏まえたアルコールの有害使用対策に関する総合的研究平成 25 年度分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
- ・ 石井裕正「成人の飲酒と生活習慣に関する実態調査研究」『わが国における飲酒の実態ならびに飲酒に関連する生活習慣病、公衆衛生上の諸問題とその対策に関する総合的研究 平成 20 年度総括分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 環器疾患等生活習慣病対策総合事業）
- ・ 樋口進「成人の飲酒と生活習慣に関する実態調査研究」『わが国における飲酒の実態ならびに飲酒に関連する生活習慣病、公衆衛生上の諸問題とその対策に関する総合的研究 平成 21 年度年度総括・分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業）
- ・ 宮岡等「病的ギャンブルリング（いわゆるギャンブル依存）の概念の検討と各関連機関の適切な連携に関する研究」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 22 年度分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業）
- ・ 森山成彬「病的ギャンブルリングの疾患概念と治療」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 22 年度総括・分担研究報告書』（厚生労働科学研究補助金障害者対策総合研究事業）
- ・ 宮岡等「病衣的ギャンブルリング（いわゆるギャンブル依存）の概念の検討と各関連機関の適切な連携に関する研究」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 23 年度分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業）
- ・ 宮岡等「病的ギャンブルリング（いわゆるギャンブル依存）の概念の検討と各関連機関の適切な連

- 携に関する研究」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 22～24 年度総合研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業）
- ・ 田辺等「いわゆるギャンブル依存症（病的賭博）の中核群を考える」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 22～24 年度総合研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業）
  - ・ 西村直之「病的ギャンブリング問題への介入・治療の動向について」『様々な依存症における医療・福祉の回復プログラムの策定に関する研究 平成 22～24 年度総合研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業）
  - ・ 宮岡等「病的ギャンブリングと債務問題等との関連および病的ギャンブラーの家族らの実態調査と回復支援のための研究」『様々な依存症の実態把握と回復プログラム策定・推進のための研究 平成 25 年度分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業）
  - ・ 田中克俊「人格障害、およびいわゆるギャンブル依存症の実態と地域ケアの促進に関する研究」『精神障害者の地域ケアの促進に関する研究 平成 20 年度総括分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業）
  - ・ 田中克俊「いわゆるギャンブル依存症の実態と地域ケアの促進」『精神障害者の地域ケアの促進に関する研究 平成 21 年度分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 障害保険福祉総合研究事業）
  - ・ 田中克俊「いわゆるギャンブル依存症の実態と地域ケアの促進」『精神障害者の地域ケアの促進に関する研究 平成 19～平成 21 年度総合分担研究報告書』（厚生労働科学研究費補助金 傷害保険福祉総合研究事業）
  - ・ 岩城成幸（2006）「カジノ導入をめぐる最近の動きと論議」（国立国会図書館調査及び立法考査局）
  - ・ 財団法人社会安全研究財団「アメリカにおけるゲーミング」
  - ・ 土屋恵司「アメリカ合衆国におけるカジノ規制法制」外国の立法 216 号 P115-133
  - ・ 公益財団法人日本生産性本部「2015 レジャー白書 国内旅行のゆくえと余暇」

#### 【参考ウェブサイト】

- ・ 『自殺対策に関する意識調査』（内閣府自殺対策推進室）
- ・ 『ギャンブラーズ・アノニマス』（GA Japan information center）
- ・ 『依存症対策』（厚生労働省）
- ・ 『リカバリーサポートネットワーク』
- ・ 『パチンコ・パチスロ産業 21 世紀会について』（全日本遊技事業協同組合連合会）
- ・ 『ワンデーポート』
- ・ 『ようこそギャマノンへ』（ギャマノン）
- ・ 『2015 年ぱちんこ依存問題電話相談事業報告書』（リカバリーサポートネットワーク）
- ・ "パチンコ店における依存（のめり込み）問題対応ガイドライン"
- ・ 平成 27 年度 内閣官房委託調査 「特定複合観光施設区域に関する海外事例調査」（依存症対策、区域設定等）報告書（平成 27 年 10 月 有限責任 あずさ監査法人）
- ・ パチンコ業界WEB資料室

- ・ 全日本遊技事業協同組合連合会
- ・ 宮崎県遊技業協同組合
- ・ ウィキペディア
- ・ J R A
- ・ 地方競馬全国協会
- ・ 公益財団法人 J K A
- ・ はじめてでもよくわかる競輪ガイド
- ・ 公益社団法人全国競輪施行者協議会
- ・ K E I R I N. J P
- ・ 経済産業省（競輪・オートレース紹介ページ）
- ・ たちかわ競輪
- ・ 静岡けいりん
- ・ ガールズケイリン
- ・ ボートレースオフィシャルサイト
- ・ 女性限定 ボートレース観戦&選手と作ろう！シルバーアクセサリー
- ・ パンフレット：若松&芦屋&福岡ボートレース場がおもしろい！
- ・ 広報誌：ボートレース広報誌プロペル
- ・ パンフレット：ボートレースバイブル
- ・ 報告書：一般財団法人 日本モーターボート競走会 平成 26 年度事業報告書
- ・ 計画書：一般財団法人 日本モーターボート競走会 平成 27 年度事業計画書
- ・ 論文：戦後日本における競艇の発祥と展開に関する一考察 古江真之
- ・ 論文：競艇界のさらなる発展に向けた改善策に関する研究 江口晃生
- ・ 報告書：モーターボート競走事業活性化検討委員会 報告書
- ・ 論文：ボートピア設置が周辺地域に与える影響について 海老澤 佳之
- ・ 国会議事録 第 010 回国会 運輸委員会 第 27 号（昭和二十六年五月三十日（水曜日））
- ・ オートレースオフィシャルサイト
- ・ オッズパーク
- ・ 宝くじワクワク NAVI
- ・ 宝くじ公式サイト
- ・ 総務省・宝くじ活性化検討会報告書
- ・ 宮崎県 HP・ようこそ！宮崎県の宝くじのページへ
- ・ 文部科学省 スポーツ振興くじ（t o t o）
- ・ カジノ&レストラン J a c k & Q u e e n
- ・ A K I B A G U I L D
- ・ 【五輪バド金候補閣カジノ賭博】「ライオンで言えば、がけから突き落とす感じ」 協会、厳格処分も「這い上がって」と再起に期待（産経ニュース 2016.4.11）